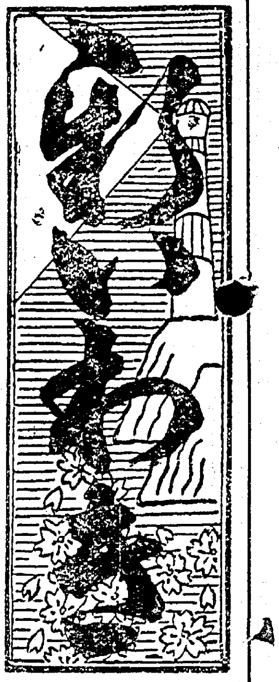
八月六日　夕刊



日刊（但シ日曜祭日翌日休刊）一ケ月廿五錢　郵稅十五錢　一部二錢
廣告料　一行四十錢　場所指定　二十錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社

四倉港の第二期工事
明年度から施行確實
工費は十五萬圓乃至廿萬圓
防波堤の延長と堀鑿に

石城郡四倉町が宿願する築港の第二期擴張計畫は新妻町長その他の必死的な陳情運動により明年度からの施行を殆んど確定的なものと見られてゐる同港の擴張計畫に對しては內務省に於ても地方中小港灣の重要なものに上げられて居り少なくとも五百噸級ぐらゐの船の碇泊に可能ならしむべく最初の工に防波堤を進めて大きな外廓をつくる遠大な計畫を抱かれてゐるが同町としては差當り漁船の寄泊に事欠くところから之れが急速なる施行を農林省に歎願されゐたたもので縣にありても同町の希望を容れて主務省に申請された結果農林省に於て遂に容認するところとなつたらしく工費は大体十五萬圓乃至二十萬圓程度の模樣である而して今回の工事は船入口の防波堤を延長し現築港北側堤內の岩盤堀鑿及び浚渫を行ひ水深三メーターの港腹とされるもの丶如く同港內に於ける狐磯その他の磯壘の排除は第三期工事に廻されるであらうと

常識講座

ガール・ガイドは女子修養團のこと、年令十一才から十八才までの女子を各階級から募集して家政の實地練習、休育、狩獵、精神教育等々一定の訓練を行ふところの女子團体の謂

蛭田川改修工事
愈よ本格的準備
今日事務所建設その他の調査
主任技手は大森輝氏

石城郡南に於ける蛭田川改修が總工費四十五萬圓五ヶ年の繼續事業を以て施行に決し本年度は七万五千圓の工事を行はれる筈で平土木監督所が準備中であることは既報したが今八月末の着工に對して今六日縣土木課から工事主任技手大森輝氏を派遣され小林監督所長も共に工事現地へ出張し勿來驛と勿來町窪田の中間字小塙に建てる工事事務所並に電話の架設から施行地沿線の稻の刈上げ等に關し地元と打合せをなしたが同事務所には工事監督者及び事務員等十餘名を配置されると

八月に入り
貨物激增
平驛で連日百圓近くづゝの增收

平驛の貨物は今八月に入りて非常に輻輳し昨五日までの取扱に於て既に左記の如く一千五百五十三圓八十五錢の收入を上げ前年同期の一千七十九圓三十錢に比して四百七十四圓五十五錢を增したので昨年十二月七日から實施されてゐた肥料及び政府拂下げ米等の運賃五割引も去る七月末日を以て閉ぢられた今月は來る二十三日が七月祭に當る舊盂蘭盆の準備荷があるもの等相當の增收を見込まれてゐる

八月に入りての增收一日三一八圓一二錢（一七九圓七九錢）二日三〇一圓五一錢（一七一圓一三錢）三日二九〇圓九八錢（一八〇圓三三錢）四日二八〇圓五〇錢（二四六圓七二錢）五日三六二圓七四錢（三〇一圓二七錢）

赤井校の點呼美談
ペタルを踏んで六十里
駈付た上小川村の草野君

石城郡上小川村の上小川生れ輜重特務兵草野三郎（二八）は目下東京市荒川區日暮里町に機械職工となつてゐるが昨五日鄕里赤井村第二小學校に於て執行された簡閱點呼に歸鄕する旅費がなく不參加を余儀なくされるところを知人から自轉車を借り此の炎天に六十里の間をペタルを踏んで馳せ參じ鄕里のものと共に點呼を受けたので其れを聽えた執行官を初め一同を非常に感服させた

平驛七月の貨物
五八〇圓を增收
發送到着共に增量したが
中旬だけ赤字であつた

平驛に於ける七月の貨物取扱ひ高は發送七三九七噸（昨年六四〇八噸）到着一五三九二噸（昨年一四四二五噸）收入九四〇二圓で前年同期に比し發着共に增加し昨年の收入八八一三圓より五八〇圓の增收を示した當月は上旬收入に於て五六四圓を增收せるも中旬で一六三圓を減じ赤字でないかと氣遣はれてゐた下旬成績が左記の如く一八八圓を增收したので所記の黑字を見られたものであると

下旬發送二七六三噸（二三六一）到着五三九九噸（五四三九）收入三四七一圓（三二八三）（）內は前年同期

石城の八月現在米
四萬八千石余か
此まゝで三ケ月の食糧充分
出來秋まで心配なし

縣穀檢平支所では今八月一日の現在米を調査集計を了したが發表せぬ爲め詳細でないが石城郡一圓に於ける去る七月一日の現在米は左記を合せて六萬四千七百六十二石三斗であつたものより推し政府米の移入七千二百石の大部分が同月現在に加はつてゐるので爾後の移出は勿論移入にも特筆すべきものがなく結局同郡の一ケ月の食米一万六千六百石の消費だけ減じてゐるものと見て大差なささうで四萬八千石餘が殘つてゐると想算され同現在米は今八月から十月に至る三ケ月の食米量に相當するから收穫期まで大した不足を告げまいと云はれてゐる

四倉町長の招宴

四倉町長新妻盛氏は同町海水浴場その他の紹介盡力に酬ゆる意味で昨五日午後五時から町內海氣館に在平日刊記者を招ぎ晩餐を兼ねて懇親の宴を催した

水の話（一）

抄錄　牛谷生

夏は水に親しみ易いから子供さん方を相手に水の話をして見ませう、水に淡鹹の二種あることは曾て本欄で話したことがあります、茲では淡水即ち私共が日常用ゐてゐる眞水の話に致します、眞水は百姓日々に用ゐて其の効を知らずと云はれるが如く、火の方は場合によつて一日や半日ぐらゐ無くても我慢が出來るものでありますが水となるとなか〳〵左樣には參りません、斯くまでに大切なもので而して每日朝から晩まで使つて居るのでありますがまことに重寶なものだ、大切なものだと云ふほどの感念を懷かれて居るものが少なからうと思ひます、つまり其れは造作なく得られるからでありませう、水が如何に大切であるかを明治三十七、八年の日露戰役の際蓋平に滯在中であつた川村（五郎）少尉が家鄕に送つた手紙の一端に其れが深刻に窺はれますから其の節々を書いて見ませう、糧食も昨今稍富裕に相成り一人前五合の精米を給され足らぬ所は粟餅、にら、にんにく、きうり位にて補ひ居り候、もれ聞く所によれば、現在の線を進出する上は長驅遼陽方面に向ふ由、ついては後方勤務を十分堅固にして後顧の憂ひなきやう致置候との事

地形は例の高平原、一望千里の有樣にて之れに玉蜀黍麥、粟、黍、大豆など一面に植付られ畑は不完全なるも其の植付は實に整然たるものに候、昨年は作物みな發氣と共に成長し麥は二等位、玉蜀黍、大豆は五等ぐらゐに候、

父と娘が共謀で
二百七十圓を詐欺
酌婦で前借した娘を逃げさせ
別に三百圓で住み替え

平町字田中一七卯之吉長女武井みよ（二〇）は去る昭和七年十月二十四日實父卯之吉（五〇）の承諾を得て東京市向島區寺島町七の五三料理店堀田吉次郎方の酌婦となり身の代金二百七十圓を父娘の連帶で前借したがみよは同年十二月末同家を逃走行方不明となつたので八方搜查吉次郎は卯之吉方へも屢々照會したところ兩者の間に文通しながら知らぬ存ぜぬで娘の所在を秘してゐるので被害者方が心當りを探した結果昨十月十月仙台市櫓町附近の某料理店へ卯之吉の承諾を得て三百圓を前借住み替えてゐる事實を突き止められ父娘共謀を以て詐欺を働いたものと判り今六日被害者の爲め平署に告訴された

尼子の大バス
四倉で火災

平町二丁目あまこ自動車の大型バス運轉手吉田健造（三六）の操縱で昨五日午後四時二十分頃四倉警察署前御免橋に近い字新町地內國道に於て突然機關部から發火したが火の出所を突き止め得ず消火に困つて座席に延燒しつゝある同車を警察署前横道に進行ガソリンの火事故に放水を控いて「一億圓消火器」によりくすぶる個所を同四時四十分頃漸く消し止めたが一時はなか〳〵の大騷ぎであつた尙ほ同車は海水浴客の迎ひ車であつた爲め乘客なく此の點の障害はなかつたが損害一千圓位の由

社會事業講習會

小名濱町小學校に於て昨五日から八日に至る四日間開催中の縣主催社會事業講習會は郡內から受講者三百餘に上り豫期以上の盛會である

江名濱加工組合

石城郡江名町では蒲鉾、竹輪薩摩揚げ等の製造を近年盛んに行はれる樣になつたが今回町內當業相結んで海產物加工組合を設立すると

縣下保育院大會

縣主催の縣下保育院大會は今六日午前九時から小名濱小學校に開催された

青果市況

平中央青果卸市場【調】

青物	高値	安値
玉菜（貫）	九〇	六〇
胡瓜（一本）	一〇	七
牛蒡（貫）	二四〇	二〇〇
丸茄子（百ケ）	九〇〇	三五〇
長茄子（百ケ）	二八〇	二四〇
人參（貫）	三二〇	二〇〇
トマト（貫）	三二〇	二五〇
ナタ豆（貫）	三〇〇	二四〇
馬鈴薯（貫）	一七〇	一三〇
南瓜（貫）	一四〇	一二〇
玉葱（貫）	二三〇	二〇〇

今晩も明日も南西の風、晴（夕立模樣）（小名濱測候所）

弊院儀今回都合により三丁目元郵便局裏川岸通りへ移轉仕り從前通り診療に從事仕候間右謹告仕り候

田町五番地
明雲堂眼科醫院
新妻幸之助
電六六九

産業方面

鰌の出荷

近年宮城物が進出
優良品は千葉日方

鰌は夏から秋にかけて食用を歡迎されてゐるが此の鰌の移送は捕獲したものを直ぐに出荷するとよく斃死するから簡單な方法としては一、二日間四斗入れの空樽に水八分目ぐらゐを入れ樽一個に三、四貫目の鰌を入れて畜養すべきである、これは腹の中にある食物を吐き出さすためである水は井戸水が適當とされてゐる、

荷造りは普通遠州籠（直徑一尺二寸、高さ七寸のもので鰻籠とも云ふ）を用ひ一籠に二貫目を入れて二つ重ねとなし蓋をして上に一、二貫目の氷をのせる、東都へ送るならば中央卸市場や魚市場株式會社乃至は淡水魚株式會社がよい、

運送には午前零時二時の二回中央市場に到着する貨車に間に合ふ樣にすべきで時間外の出荷は販賣上非常に不利である、

相場は大体大、小、込の三種に分れて大は一尾三、四匁のもの小は二匁以下のもので込は大小混合したもの、小は一般に食用とならず鳥類の餌料とされたり東京の出荷は大の銘柄に屬するものが有利である、

鰌は越後物は骨が硬く脂肪が少くて下人氣、最近宮城物が千葉物に匹敵する進出を見せたが最も良いものは千葉縣の日方鰌で大十貫廿圓、込十貫十五圓、小十三圓見當であると（完り）

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

スペインG•H•N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1•10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）西村屋藥舗（電3）

正確なる体温計 寒暖計（各種）
計量器指定販賣
平町五丁目角
山野邊藥局

海へ涼
海水着
ピーチコート　¥1•30
海水帽子　¥•08ヨリ　¥•55マデ
浮袋　¥•35ヨリ　¥•55マデ
其ノ他用品豊富陳列
ヤルツ
平四　電一四〇

内科、小兒科
大森醫院
入院應需
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

ほねつぎ
平町才槌小路
大河内接骨院
電五八八

（營業科目）
最も有利な利殖法
一、債券買賣　時下相場により御相談に應じます
一、擔保貸付　最も安いもので八掛迄御貸付致します。
一、債券による利殖　各證券による年一割責任配當保證付（年四割配當豫想）一期を半年として元利共受取る事が出來ます。
一、當籤の無料調査　回別と番號を御知らせ下されば調査の上御報知申上げます。
平町仲間町（申込次第詳報呈上）
横山商店債券部
債券に趣味を持つて外交希望の方は午後六時から御出で下さい

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

手職を覺へらるゝ
雜務員募集
一、年令十五、六才
一、初給四十錢内外年二回昇給あり
一、平町及附近居住者にして通勤し得るもの
一、最初工場の雜務に從事し後本人の適業に廻す
右希望者は本人直接當工場へ御申込を乞ふ
平町新田前
丸はん家具製作所
電話の御照會は御斷り致します

諸器械製作機械切齒車
高壓タービンポンプ
田邊製作所
最新工作機械設備
平白銀　電話二九四番

創業以來茲に二十年皆々樣の深甚なる御引立に相成り誠に有難く厚く御禮申上げます
私は創業前東京技藝校を卒へ造花の研究を致して居りますが未だ一人前の藝術家として立つ事が出來ず御滿足を與へる事が出來ません　此後皆樣の御指導の下に一層研究致し度御批判の上御引立御鞭撻下さいます樣切に御願ひ申上げます
店主　山田信次
祝弔
造花調製
山光堂
平四丁目通り　電話五五〇番
祖先崇拜は家庭繁榮の礎
愈々盆が近づきました
佛壇、塗位牌、金物佛具品取揃へてあります

牛、豚大勉強
牛、豚共に（百目）卅錢、四十錢、五十錢
平町六丁目
大塚肉店（電話五三九）
コロツケ（五ツ十錢）
カツレツ（一ツ十錢）

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社

八月五日から開店致しました
ハナ鰹節
衛生　原料は精魚を吟味し製造法に注意してありますから衛生上完全無缺の良品で鰹節と少しも異る事なく各地に於て好評を受けて居ります
經濟　價格低廉且つ少量にて効驗があります
輕便　削る手數を要せず「ダシ」も至つて早く出ます
以上助勢の要求を完備せる理想的花鰹の眞價を一日も早く實際に御試しあらんことを切望致します
商店製造部（平町六丁目）

久
和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九•九九

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します、
平町南町
電三〇七
平看護婦會
會長　清野キヨ
經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
姙婦産婦の御家庭